

長野市公共施設マネジメント

ニュース・レター Vol.1

平成28年5月 長野市

創刊号

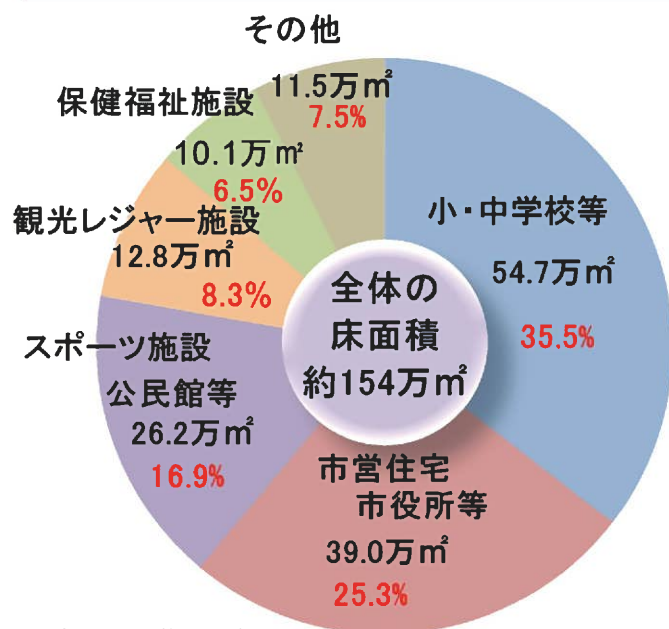


さらなる活気あるまちづくりや市民生活の質の向上をめざして、施設保有量の最適化や長寿命化など、保有する公共施設を最適に維持管理し有効活用を図る取り組みである「公共施設マネジメント」を推進しています。

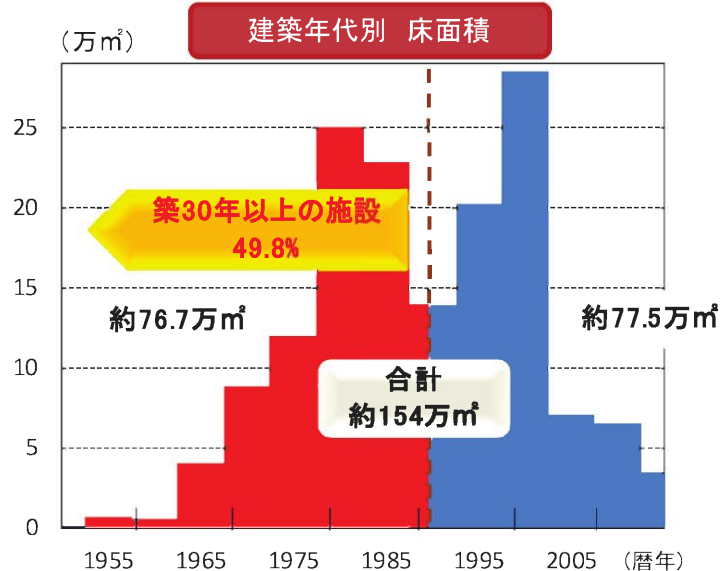
市民の皆さまのご理解をいただきながら進めていくため、公共施設マネジメントに関する情報をお知らせする「ニュース・レター」を創刊しました。これからも随時お知らせしますので、ぜひ手にとってご覧ください。

公共施設全体の床面積は154万㎡

築30年以上経過した老朽施設が50%



(資料)公共施設白書より

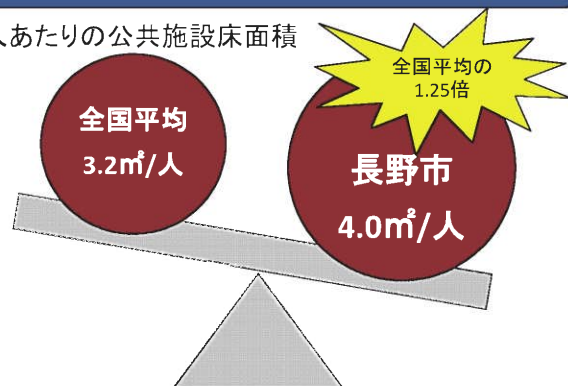


(資料)公共施設白書より

- ◆ 長野市の公共施設(建物)全体の床面積は約154万㎡あり、東京ドーム33個分にもなります。
- ◆ 築30年以上経過の老朽化した建物が多いのは、昭和40～50年代の人口増加に対応するために多くの施設が整備されたためです。
- ◆ さらに平成10年の冬季オリンピック開催や平成の大合併などにより公共施設が増えました。

床面積は全国平均の1.25倍

人口一人あたりの公共施設床面積



(注)長野市は平成25年4月1日、全国平均は平成24年3月時点の数値
(資料)公共施設白書より

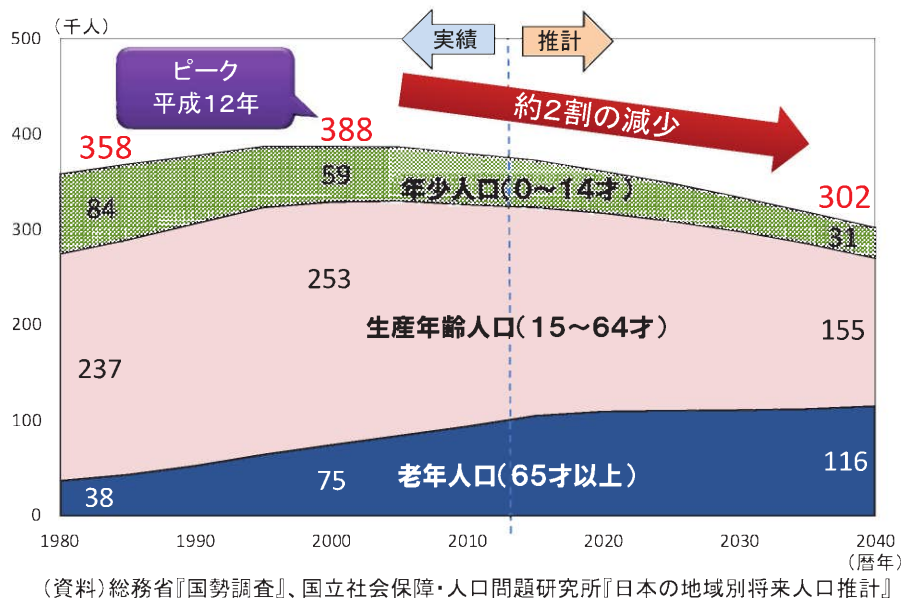
ニャ!

建物も年をとるから、毎年、老朽化が進むんだ
古い施設が多いから、これから改修や更新にたくさん費用がかかるね

ミーコ
(長野家のネコ)



人口推計 2040年には 約20%減少



2010年(平成22年)から
2040年(平成52年)の
人口変化

- 年少人口
約2.3万人(42%)**減少**
- 生産年齢人口
約7.7万人(33%)**減少**
- 老年人口
約2.1万人(22%)**増加**

- ◆ 長野市の人口は、2000年(平成12年)の38.8万人をピークに人口減少時代に入っています。
- ◆ 2010年(平成22年)と比べると、2040年(平成52年)には約8万人減少して約30.2万人になると見込まれています。また高齢化率(65歳以上高齢者人口が総人口に占める率)は、約25% から約38%に上昇する見込です。

平成28年に、市は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、「人口ビジョン」を策定して、人口減少対策に取り組んでるんだ



改修・更新費用は約1兆730億円

- ◆ 公共施設に係る投資的経費実績(費用)は、過去5年間と今後40年間を比べると、平均で約1.8倍の予算が必要になります。
- ◆ 公共施設に加え、道路、橋、上・下水道などのインフラ施設を含めると、改修(修理)や更新(建替え)にかかる費用は40年で約1兆730億円になると見込まれています。
- ◆ 人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や税収減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは困難です。

道路や橋、上下水道などのインフラ施設も大切な施設だし、全ての施設を維持することは困難か…



今後40年間の改修・更新費用
総額 約1兆730億円



(資料)公共施設白書より

長野市では、平成27年7月に公共施設マネジメントの基本的な考え方や取り組みの方向性などを取りまとめた長野市公共施設マネジメント指針を策定しました。

指針に示す 四つの基本方針

<h3>I 施設総量の縮減と適正配置の実現</h3>	<h3>II 計画的な保全による長寿命化</h3>
<p>今後20年間で20%の縮減を目指します。しかし、人口推計から一人あたりの面積は今と変わりません。</p> <p>平成25年4月現在 人口38.5万人 → 平成52年見込み 人口30.2万人</p> <p>20%縮減 施設を縮減しないとき</p> <p>市民一人あたりの床面積 4.0㎡</p> <p>施設を縮減したとき 市民一人あたりの床面積 4.0㎡</p> <p>施設を縮減しないとき 市民一人あたりの床面積 5.1㎡</p>	<p>建物の一生にかかる費用の縮減、長寿命化、耐震化の推進、基金創設など。</p> <p>こわれたら直す維持管理から、計画的な予防保全に維持管理方法を転換します。</p>
<h3>III 効果的・効率的な管理運営と資産活用</h3>	<h3>IV 全庁的な公共施設マネジメントの推進</h3>
<p>管理運営の効率化、受益者負担の適正化、遊休施設の利活用など。</p> <p>利用者や稼働率が低い施設は、利用促進を図り、民間活力の活用や、施設利用者の利用料金も再検討します。</p>	<p>庁内推進体制強化、財政との連動、施設情報の一元化、職員意識改革など。</p> <p>全職員が縦割り意識を排除した全庁的なマネジメントを推進します。</p>
<p>基本方針を踏まえ、今後例外なくすべての施設について検討を進めますが、指針の中で各施設分野で重点的に検討すべき施設について、検討の方向性を示しています。</p>	

市民アンケート 96%が見直しに賛成

- ◆ 指針策定にあたり市民アンケートを実施し、約3,000人の方から回答をいただきました。
- ◆ Q: 公共施設の適正配置と規模の見直しが必要だと考えますがどう思われますか?との質問に対して

A: 賛成が 63.4%

どちらかといえば賛成が 33.1%

あわせて 95%以上の方が「賛成意見」となりました。

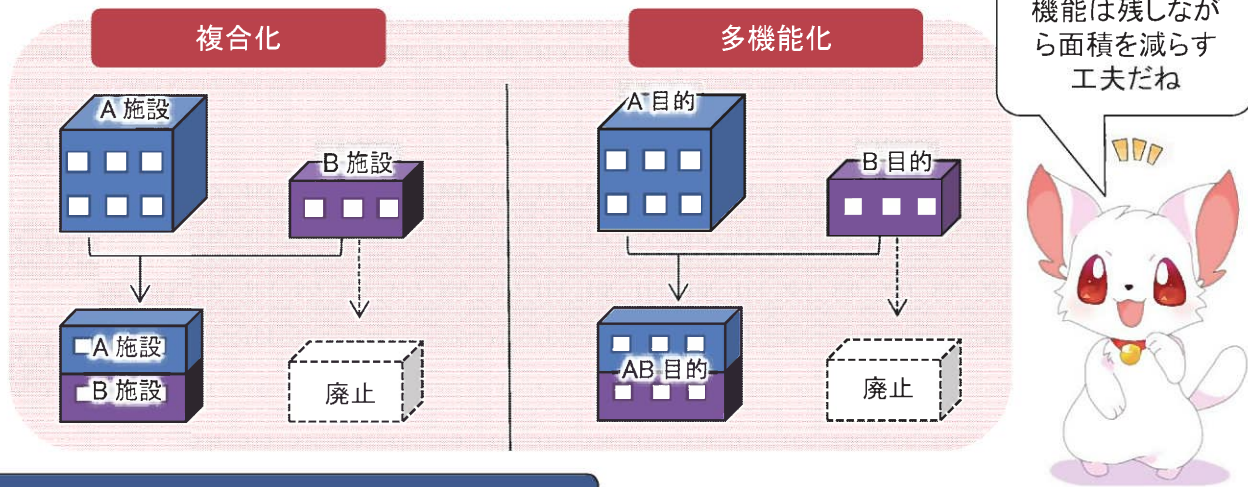
公共施設マネジメント、これからの主な取り組みを説明します。

地域特性等を踏まえた施設の再配置

- ◆ 人口減少や人口構成の変化による市民ニーズの質と量の変化が想定されます。
- ◆ コミュニティ活動の拠点機能を確保しつつ、これまでの一地区一施設といった考え方から脱却し、効果的・効率的な配置を検討します。
- ◆ まずは、今後10年間の取り組みを、第一次再配置計画として平成28年度中に策定します。

複合化で機能は維持しながら量を縮減

- ◆ これまで、一施設に一機能を持たせてきましたが、施設を複合化・多機能化することによって、玄関・廊下などの共有スペースや維持管理費の削減が可能になり、また、多世代交流や地域コミュニティの深化など新たな効果も期待できます。
- ◆ できるだけ施設の機能を残しつつ、複合化による集約を図りながら施設総量(床面積)の縮減を進めます。



官民連携で民間活力の活用を図る

- ◆ 厳しい財政の中、行政による対応には限界があるため、指定管理者制度やPFI※などの官民連携手法の導入により、多様な選択肢から効果的・効率的なサービスの提供方法を検討します。
- ◆ 民間施設と競合している分野では、行政が建物を保有せずに民間施設との連携を促進することも検討していきます。

※PFIとは、公共施設等の建設や維持管理・運営などを、民間の資金や経営能力・技術などを活用して行う手法のことです。

平成18年4月にオープンした温湯温泉『湯～ぱれあ』でPFI手法を用いています。



長野市公共施設マネジメント指針の基本理念 将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく



- ◆ 公共施設マネジメントについて詳しくは、長野市ホームページで行政管理課>「公共施設白書」「公共施設マネジメント指針」等をご覧ください。



長野市 総務部 行政管理課
公共施設マネジメント推進室

〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel: 026-224-8402
Fax: 026-224-7964
E-mail: gyousei@city.nagano.lg.jp

- ◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。



長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol. 2 平成28年8月 長野市

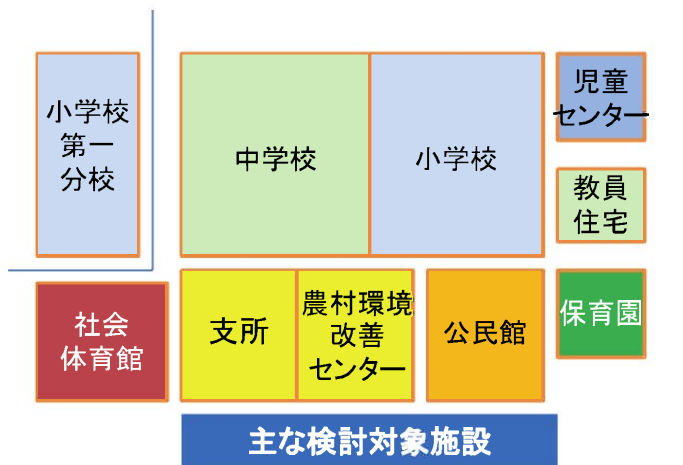
第2号

～芋井地区の公共施設について考える～ 市民ワークショップを開催しました



最終回終了後に、会場全員で記念撮影

公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市と一緒に検討する、地域の公共施設に関するはじめての試みとして、31名のメンバーに参加いただきワークショップを開催しました。世代別の5グループで毎回テーマを決めてグループ討議、意見発表を行いました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



第1回目(5月21日) テーマ:地区の将来、こんな地域を作りたい

◇第1回目は、まず市(行政管理課)から、支所・小学校を中心とした芋井地区の公共施設の現状や人口推計などについて説明し、引き続きグループ討議と意見発表を行いました。



- ◆皆が集まれる場所や機会が減った。地域の人も外の人も関心を持ってくれるようなイベントを開催する。住民が誇れる地域の文化が必要。
- ◆芋井(本村)と飯綱を結ぶ県道の拡幅など、インフラ整備を進める。
- ◆移住したくなるまち、安心して子育てできる地区にして、田舎暮らしの好きな人を受け入れる。
- ◆今住んでいる我々が楽しいと思える地域であれば、外の人も住みたいと思える。
- ◆もっと便利にして欲しい人と、不便を承知でのんびりした生活を望んでいる人が、双方満足できる。
- ◆空き家等住む場所はあるので、若者を呼び込む。地区の役を若者に押し付けない配慮が必要。
- ◆観光やりんごづくりなどの雇用はある。若者が挑戦できる職場をつくる。
- ◆芋井の価値や魅力をつくり、高めていく。市街地へ近い立地を生かしたベッドタウンも可能。

第2回目(6月4日) テーマ:公共施設でしたいこと。したいことのために公共施設をどう利用するか

◇第2回目は、休校中の小学校第一分校で開催し、グループ討議の合間に施設見学も行いました。
◇アドバイザーの前橋工科大学准教授の堤先生も参加し、グループ討議の前後でアドバイスをいただきました。



- ◆世代や地域を越えた交流。そのために、いろいろな人が興味を持ち参加できるイベント。
- ◆地域の郷土歴史もふくめて、勉強したい。
- ◆キノコや山菜など、地域の特産物を「採る」「売る」「調理する」ことで楽しみたい。
- ◆地域外の人との交流。子どもたち、学校と交流したい。交流の中から新しい事業を考える。
- ◆若い人に来てもらってコワーキングスペース(共同仕事場)を作りたい。六次産業を立ち上げたい。
- ◆料理教室。サテライトオフィス(本社から離れて勤務できる場所)。
- ◆リトアニアとの交流(一校一國運動)。パブリックビューイング。若者が集える空間。宿泊体験。
- ◆ギネス記録への挑戦、アウトドア、DIY(日曜大工など、ものづくりや修繕)農業体験。

第3回目(6月11日) テーマ:運用面から見た将来の公共施設再配置のかたち(私たちができること)

◇参加者アンケートで「もっと具体的な施設再編について話し合うべき」といった意見をいただきましたので、3回目は、中学校・支所を中心とした既存施設の活用を想定したグループ討議を行いました。前半で「したいこと・私たちにもできること」、後半で「一部の施設を減らせるとしたらどこが減らせるか、減らす施設でしたいことを別の施設に移せないか」考えていただきました。

- ◆施設の集約化は、交通の利便性の高い場所に集約させるのが良い。
- ◆施設を一ヶ所に集めることにより利便性は高くなる。
- ◆学校施設を活用すれば、機能を維持しながら集約化が可能となり、子どもの見守りもできる。
- ◆社会体育館と学校の体育館など、機能が重複している施設は集約化できる。
- ◆集約化に伴って交通手段の確保が課題となる。住民が自ら考える必要がある。



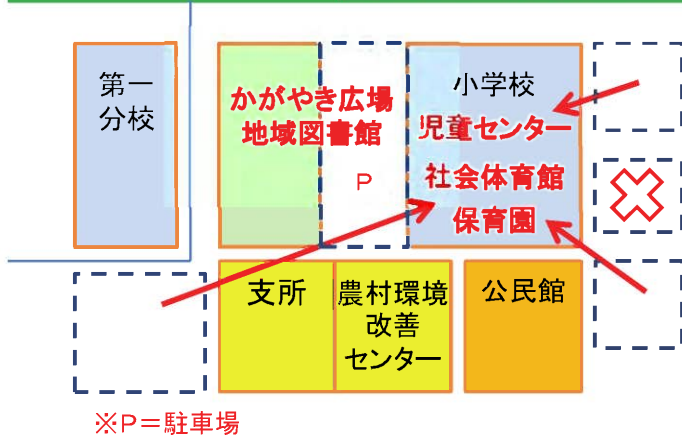
第4回目(7月2日) テーマ:私たちが考える公共施設再配置案

最終回、各グループから、芋井地区の公共施設再配置について提案をいただきました。

各グループにおおむね共通した方向性として、①現在空いている中学校舎を活用した小・中学校への集約化、②バス路線等の立地を活かした支所への集約化、③分校は独自に活用策を検討、の三点がありました。

Aグループ
人生の大先輩の皆さん

コンセプト【みんなが安心して暮らせるまちづくり】
みんな=芋井地区の人々、安心して=災害に強い



※P=駐車場

《効果》

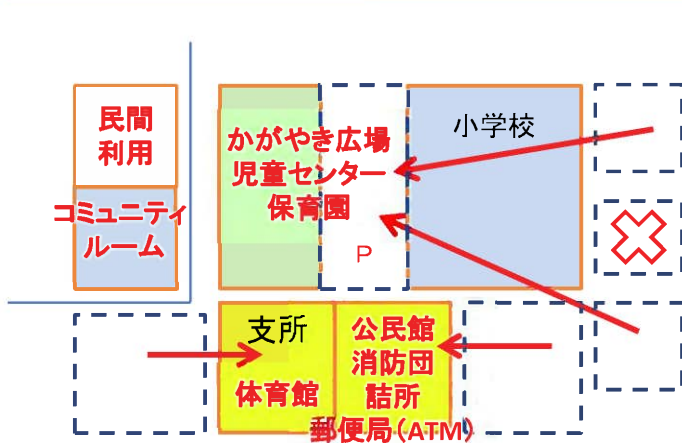
- ・小中学校に機能を集約すれば世代間交流ができる場所になる。
- ・学校への集約により災害対策がしやすくなる。
- ・中学校は高齢者施設や図書館など、まだ使い道がある(一部取壊して駐車場不足解消)。

《課題》

- ・一箇所に集中すると災害時に被害が拡大する恐れがある(施設分散も必要ではないか)。
- ・集約化で施設が遠くなる住人がいる(足の確保)。
- ・高齢者にとって本当に使いやすいのか考える必要がある。

Bグループ
地域のリーダー世代の皆さん

コンセプト【安全性・利便性・雇用・経済性】
3つのゾーンを構築し、コンセプトを実現



※P=駐車場

3つの拠点ゾーン

第一分校は
コミュニティ

支所は
行政サービス

小中学校は
教育

《効果》

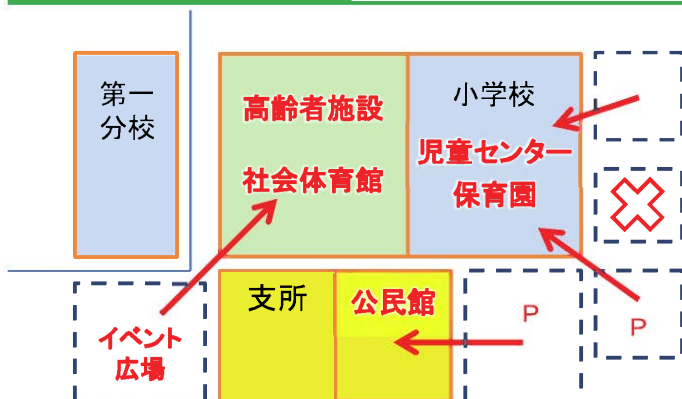
- ・土砂災害警戒区域指定等を考慮して安全性の確保を図る(耐震性のある建物、指定区域外の施設への機能移転)。
- ・バス路線等、交通の利便性の良い場所に行政機能が集約する。
- ・分校は民間利用により新たな雇用の創出を図る。

《課題》

- ・3つのゾーン間の交通手段の確保。
- ・民間利用の中身(高齢者向け・若者向け?そもそも誘致できるか)。

Cグループ
働き盛りのお父さんお母さん

コンセプト【地域一丸!!】
地区内外、老若男女を問わず交流が行える場所を作る



※P=駐車場

第一分校は
飯綱地域との
交流拠点

芋井版
ぐるりん号
を走らせる

体育館跡は
イベント広場
他は駐車場に

《効果》

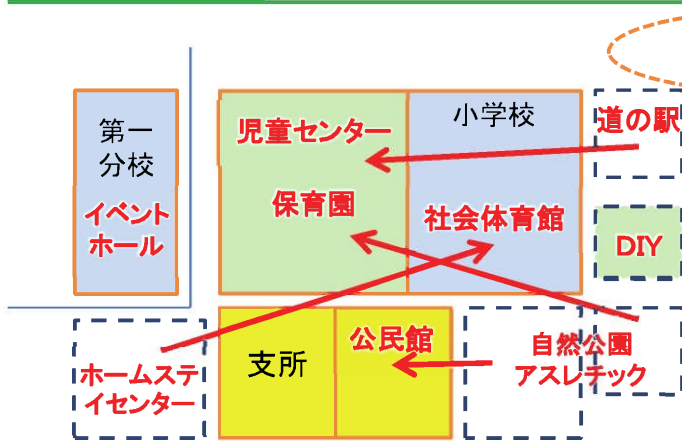
- ・小中学校では、地域ぐるみで安心・安全な子育て、世代間交流でお年寄りが元気になる。
- ・支所に公民館を集約させ利便性が向上する。

《課題》

- ・交通手段の確保(芋井版ぐるりん号)。
- ・集約化により施設利用が増えるため駐車場不足が懸念される。
- ・施設の建て替えなど再編にかかるコスト。

Dグループ
子育て中の女性と
地域おこし協力隊

コンセプト【若返れ!!芋井!!】 若手のリクルート、自然を残し
昔の良きものを活かす新しい芋井、子育てや子どもにやさしい自然を活かす



※DIY=日曜大工など、ものづくりや修繕

小学校は絶対残す

農業・イベントで
若者向け雇用活性化

《効果》

- 支所への集約により連絡の取りやすい地域運営が可能になる。
- 移転後の跡地には自然公園やホームステイセンターなどを整備（安心できる子育てを）。
- 教員住宅はDIYの実践の場として開放する。
- 芋井地区ならではのイベントを開催するスペースができる（魅力的な場所作り=PR）。
- イベントホールやDIY実践の場により、若者を呼び込める。

《課題》

- アピール方法。

Eグループ
信州大学工学部の
学生の皆さん

コンセプト【週末趣味三昧ライフ in 芋井】 趣味を思い切り
楽しめるエリアを作り、芋井全体をネットワーク化して活性化



※P=駐車場

《効果》

- 支所公民館では食体験ができる。
- 駐車場が増える。
- 分校は宿泊機能を持たせ、宿泊体験のできる趣味のエリアになる。
- 小中学校エリアは、中学校跡地を広場とし、アウトドア趣味エリアとする。
- 不要な建物を取り壊し、駐車場や広場とすることでアクティビティの幅が広がる。
- アウトドアとインドア両方の活動が可能になる。
- 地元住民だけでなく、週末は市街地から人が訪れて賑わうように。

参加者アンケートから

- ◆「やりたいこと探し」なのか「公共施設をいかに使うか」なのか、ワークショップの論点と内容がずれていた気がする。
- ◆中山間地域で「50年続く活動」を見つけるのは難しい。公共施設は存続し得ないことになる。
- ◆実現できるかは別として、夢を語ることはワクワクした。実現したいこともあった。
- ◆今回参加して、改めて公共施設の一つ一つについて、利用方法を含めて考えることができた。若い世代に、公共施設等よりよい地域を残すためにどうしたら良いか考える機会となった。
- ◆地域が本気で施設のこれからを考えないと、子や孫の世代に負担を強いることになる。
- ◆今回のワークショップは始まりであって、今後地域ぐるみでさらなる検討や調整を深めていき、市に提案できるものをまとめていかなければならないと感じた。

◇今後、具体的な芋井地区の公共施設再配置につきましては、ワークショップでいただいたご意見等を参考に、住民自治協議会をはじめとする地域の皆さんと、引き続き協議を重ねてまいります。



公共施設マネジメントについては、ご意見・ご要望は、遠慮なく行政管理課にお寄せください！

ワークショップにおける各回の資料や結果のまとめなどは、長野市公式ホームページ>行政管理課>公共施設の見直しに掲載していますのでご覧ください。
また、2回目と4回目の様子についてインターネットテレビ「愛TVながの」で映像をご覧いただけます。

長野市 総務部 行政管理課
公共施設マネジメント推進室

〒380-8512

長野市大字鶴賀緑町1613番地

Tel: 026-224-8402

Fax: 026-224-7964

E-mail: gyousei@city.nagano.lg.jp



◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。

長野市公共施設マネジメント

ニュース・レター Vol. 3

平成29年5月 長野市

第3号



～長野市公共施設等総合管理計画～を策定しました

本計画は、平成25年に公表した「長野市公共施設白書」で明らかになった公共施設の現状と課題、および、平成27年に策定した「長野市公共施設マネジメント指針」で示したマネジメントの基本的な考え方に基づき、本市が所有する公共施設等の、総合的かつ計画的な管理の推進のための中長期的な方向性を定めるものです。

指針の基本的な方針を基に、公共施設等の長寿命化基本方針（第6章）と、公共施設再配置計画（第7章）を新たに加え、策定しました。

計画の対象期間は平成29～38年度です。

第1章 計画の目的等

第2章 長野市の概要

第3章 公共施設等の全体像

第4章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

第5章 施設分類別の管理に関する基本的な方針

第6章 公共施設等長寿命化基本方針

第7章 公共施設再配置計画（第一次）

資料編

白書

指針

新規

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/koukyou/>

公共施設等長寿命化の基本方針

日常の管理や点検を適切に行うことで、壊れたら直す＝事後保全から、壊れる前の計画的な予防保全的に転換する「長寿命化」を進めて、安全な施設の管理に努めながら、財政負担の軽減と平準化を図ります。

◇目標使用年数と改修周期の設定

目標使用年数に合わせた計画的な工事により、必要最小限の回数と経費で工事を実施し、ライフサイクルコストを低減します。鉄筋コンクリート造の耐用年数をもとに目標使用年数を80年に設定します。

計画的保全の観点から、建物の定期的な改修周期を設定します。

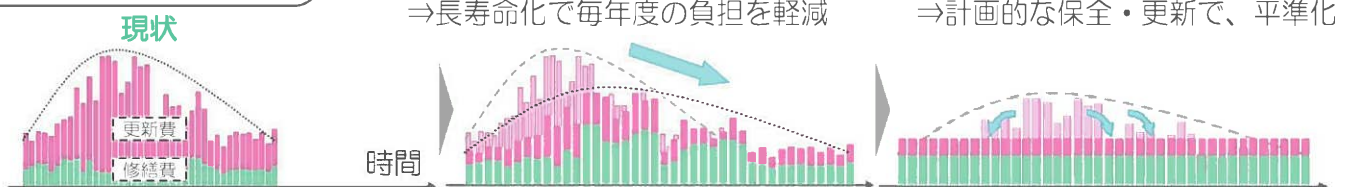
◇計画的保全の基本方針

各施設における「中長期保全計画」を作成し、適切な日常点検等を実施します。コストマネジメントの実践、施設情報の一元管理を進めます。

インフラ施設は、施設毎の長寿命化計画に基づき維持保全を行います。



長寿命化のイメージ



公共施設再配置計画（第一次平成29～38年度）

公共施設（建物）の再編・再配置に向けた方向性を第一次再配置計画として示します。以後10年ごとに第二次、第三次計画を順次策定し、おおむね3年ごとに進捗状況により見直します。

「指針」の基本方針、施設分類別の方向性と定量的分析を参考に再配置計画を定めました。

施設中分類別の具体的な検討の方向性及び既に決定している個別施設に係る計画の概要を示しています。この度の計画策定時において、検討が進んでいない個別施設についても、引き続き検討を進め、随時計画に加えていきます。

◇市民合意形成に向けた取組

公共施設の量を減らしながら、市民ニーズに対応する機能をできるだけ確保していくためには、施設の配置や規模、施設サービスの提供方法などを見直す必要があり、利用者をはじめ市民への影響が想定されます。そのため、公共施設の現状や課題などを市民と共有し、共通認識に立つことが重要であり、様々な機会に積極的に情報発信を行い、合意形成を図りながら、見直しを進めていきます。

公共施設等総合管理計画に基づく、平成29年度の主な取組

1 出前講座

平成27年～28年7月、市内全地区でマネジメントの総論をお話する出前講座を実施しました。平成29年度は、出前講座第2弾として、各地区の施設に係るデータをお示ししながら、各論の検討に進みたいと考えています。

2 市民参加ワークショップ

昨年、芋井地区で開催した、市民ワークショップについて、他の地区でも市民と行政が公共施設の再配置について一緒に考えるワークショップを開催します。今後3年程度で、全地区で開催したいと考えています。

3 中長期保全計画

今後も使い続ける個別施設について、長寿命化基本方針に基づき、中長期保全計画の作成を順次進めます。作成した中長期保全計画を一元的に管理し、財政負担の平準化を図ります。

4 民間活力の活用

PPP/PFI※手法導入優先的検討方針を策定し、一定規模の事業については民間事業者の資金やノウハウを活用する手法を、優先的に検討します。検討した結果PPP/PFI手法を導入しない場合は、検討結果をホームページで公表します。引き続き、指定管理者制度の活用を図り、公共施設サービスの向上に努めます。

5 その他

マネジメントのために必要な財源確保のための新たな基金創設に取り組みます。周辺市町村との連携事業「公共施設等マネジメントスキルアップ事業」など、職員研修を実施します。マネジメント・ニュースレターの刊行など情報発信を進めます。

市民ワークショップ
出前講座に
ぜひご参加
ください

※PFIとは：Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。
※PPPとは：Public Private Partnership（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の略で、行政と民間が協力して公共サービスを効率的に運営する手法のことで、官民パートナーシップ、官民連携とも呼ばれています。PFIは、PPPの代表的な手法の一つです。



公共施設マネジメントの共同研究プロジェクトに参加します

国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター（RISTEX）の、持続可能な多世代共創社会のデザイン研究開発領域における研究開発プロジェクト事業、「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築」プロジェクト共同研究に参加します。（研究期間：平成28年10月から3年間）

平成29年1月12日、加藤市長と、プロジェクトの研究代表者である前橋工科大学 堤洋樹准教授による連携協定書の締結式が行われました。

堤准教授は、昨年芋井地区で開催した市民ワークショップでアドバイザーを務めていただき、そのご縁で、長野市が今回の共同研究に参加することになりました。

今後の長野市のマネジメントに対し、堤准教授をはじめ、マネジメントの専門家であるプロジェクトメンバーの支援に期待しています。



左の写真は、平成29年3月4日、東京都江東区新木場の木材会館で開催された、プロジェクト主催の第1回シンポジウムのパネルディスカッションの様子です。南学東洋大学客員教授の基調講演のあと、堤准教授、南教授に加えて、池澤建築保全センター次長、日本PFI・PPP協会寺沢業務部長、讃岐首都大学東京助教など、プロジェクトメンバーによるパネルディスカッションが行われました。

BaSSプロジェクトホームページ <http://www.tsutsumilab.com/i-gene/>

長野市公共施設適正化検討委員会から答申をいただきました

平成29年2月20日、審議会である長野市公共施設適正化検討委員会の松岡保正委員長から加藤市長に、公共施設等総合管理計画（案）の答申をいただきました。適正化検討委員会は平成26年8月にスタートし、公共施設マネジメント推進に対し様々なご意見をいただき、答申までに23回の開催を重ねてきました。



同日、多くの報道機関が注目する中、長野市ボブスレー・リュージュパーク（スパイラル）の在り方の検討についても、適正化検討委員会としての提言書を加藤市長に手渡していただきました。

提言は「冬季の製氷は休止、施設は夏期のトレーニングに利用して存続、地域活性化に活用する方向で検討すべき」としました。

平成29年度以降も、公共施設マネジメントに対する適正化検討委員会のご意見を聞きながら推進して行きます。

芋井地区 市民ワークショップから公共施設整備検討委員会へ



芋井地区では、公共施設整備検討委員会（座長：和田芋井地区住民自治協議会長）が設立され、昨年開催した市民ワークショップからの提案を踏まえた、施設整備計画の検討に進んでいます。

これまでに3回検討委員会が開催され、芋井支所と行政管理課が出席し、検討結果は市役所に持ち帰って、施設担当課などの関係課も経過を共有しながら、検討を進めました。

平成29年2月21日に開催された第3回委員会では、旧芋井中学校及び支所周辺の公共施設整備の再配置（対象施設、整備場所、手順等）について、事務局（案）が説明され、基本的に承認されました。事務局（案）では、耐震性の無い芋井支所の現地建替えを第一段階とし、旧中学校舎をリノベーションする複合施設化を第二段階とするものです。（第一分校や飯綱高原の施設については別途協議するもの）

芋井地区では、検討委員会の作成した再配置（案）について、地区内からご意見をお聞きする、芋井版パブリックコメントを実施して、住民自治協議会としての承認を受け、7月を目途に、市に提言が行なわれる予定です。提言後、より具体的な検討を、地元の皆さまと市と一緒に検討していきます。

公共施設マネジメント推進課がスタートしました

平成26年4月1日、総務部行政管理課の中に「公共施設マネジメント推進室」が設置され、3名体制で3年間マネジメントを推進してまいりました。

平成29年4月1日、マネジメント推進体制の強化を図るため 総務部公共施設マネジメント推進課がスタートしました。これまでの3名体制から5名に体制を拡充し、公共施設等総合管理計画に基づき公共施設マネジメントを推進してまいります。



◆ マネジメント推進に対する皆さまのご意見をお聞かせ下さい。
◆ マネジメント・ニュースレター・第4号もお楽しみに

◆ 公共施設マネジメントについて詳しくは、長野市ホームページ>公共施設マネジメント推進課>「公共施設白書」「公共施設マネジメント指針」「公共施設等菅生管理計画」などをご覧ください。

長野市 総務部
公共施設マネジメント推進課
〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel: 026-224-7592
Fax: 026-224-7964
E-mail: koukyou@city.nagano.lg.jp

◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。

マンガでわかる！ 長野市公共施設マネジメント指針



平成28年5月

長野市

作画：長野俊英高等学校 漫画研究部

- 公民館を
 - 集会場
- へ統合し、廃止することを地域の皆さまと一緒に検討して……

え

？

公民館の老朽化も
進んでいますので……

ある日の
地区説明会

※登場する人物、ネコは実在しません。

お〜い！
聞いてくれ！！

飼いネコ
ミーコ

長野家の玄関

リビングのドア



公共施設って
何なの?

ちょっと待ってよ
お父さん

公共施設の見直して
公民館が…

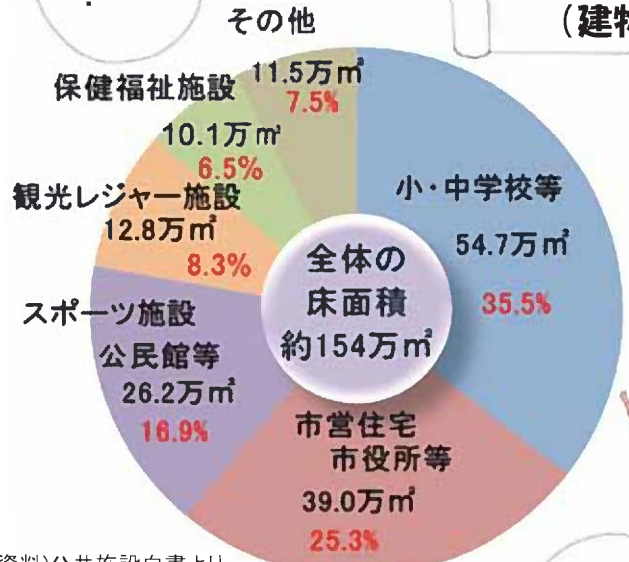
娘 未来14歳
中学2年生

父 善夫49歳
サラリーマン

公共施設は
つまり…

長野市の公共施設
(建物)の量

母 佳子50歳
主婦



(資料)公共施設白書より



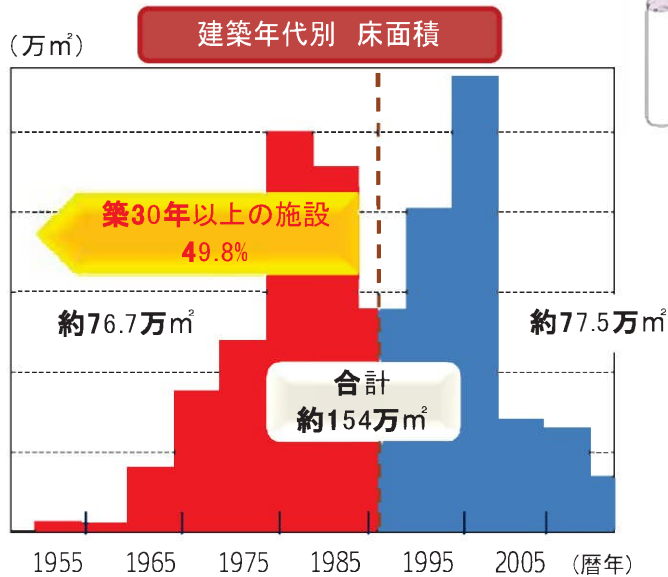
それで、父さん
公民館がどうかしたの?

ん! 光
居たのか

息子 光17歳
高校3年生



説明するニャ
公共施設とは、小中学校や市営住宅
市役所など、市民のみなさんが
利用する施設なんだ



(資料)公共施設白書より

長野市の公共施設の老朽化の程度は?

昭和40年代から50年代に多くの施設が整備されたと聞いたけど、約5割の施設が老朽化しているんだね
(平成28年4月現在 築30年以上経過)

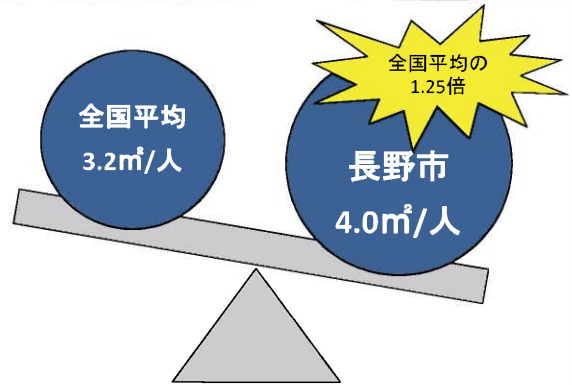


長野市民一人あたりの公共施設の床面積※は、全国平均の1・25倍となっていて、ちょっと多いんだ

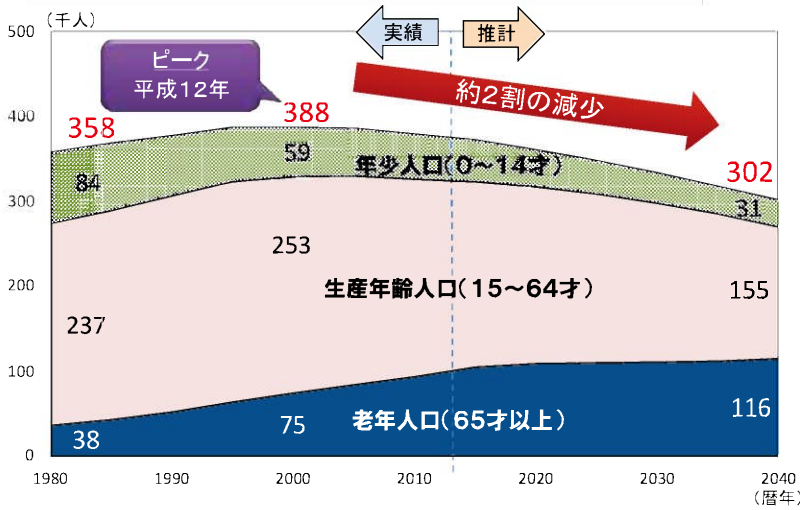


※建物全体の床面積÷人口

長野市の公共施設って多いの？少ないの？



(注)長野市は平成25年4月1日、全国平均は平成24年3月時点の数値
(資料)公共施設白書より



(資料)総務省『国勢調査』、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来人口推計』

長野市の人口は将来どう予測されるの？



平成52年には約8万人減少し、高齢化も進むとみているんだ

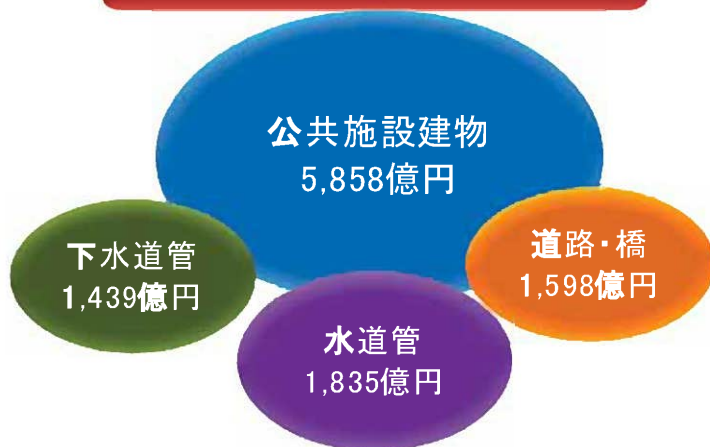


それに、働く人が減っていくと市の財政もより厳しくなって…



人口の減少で税収は減っていくのに、高齢化が進むから、福祉などにかかる費用はますます増えていくんだよね

今後40年間の改修・更新費用
総額 約1兆730億円



老朽化対策にかかる費用はいくら？

今後、建物と道路や橋、
上下水道などを合わせると
総額は、約1兆730億円
と試算されているんだ

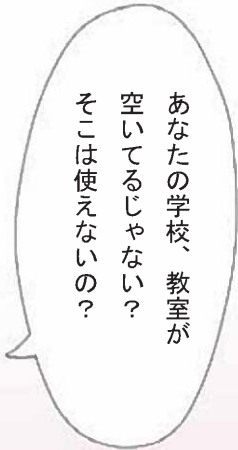


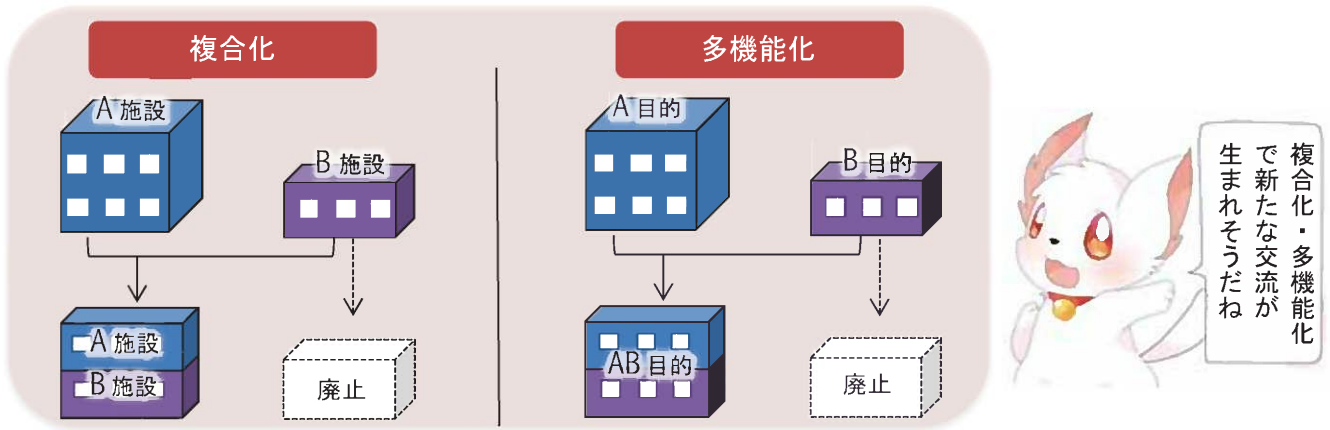
(資料) 公共施設白書より





みんなが笑顔の元気なまち
“ながの”であり続けるために





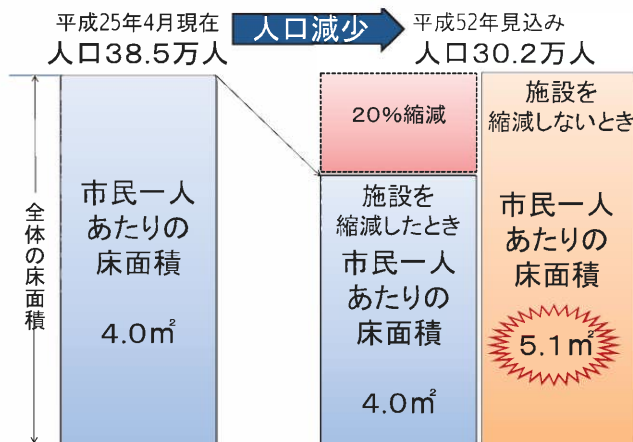
これからの取組の方針「長野市公共施設マネジメント指針」を平成 27 年 7 月に策定！

基本理念

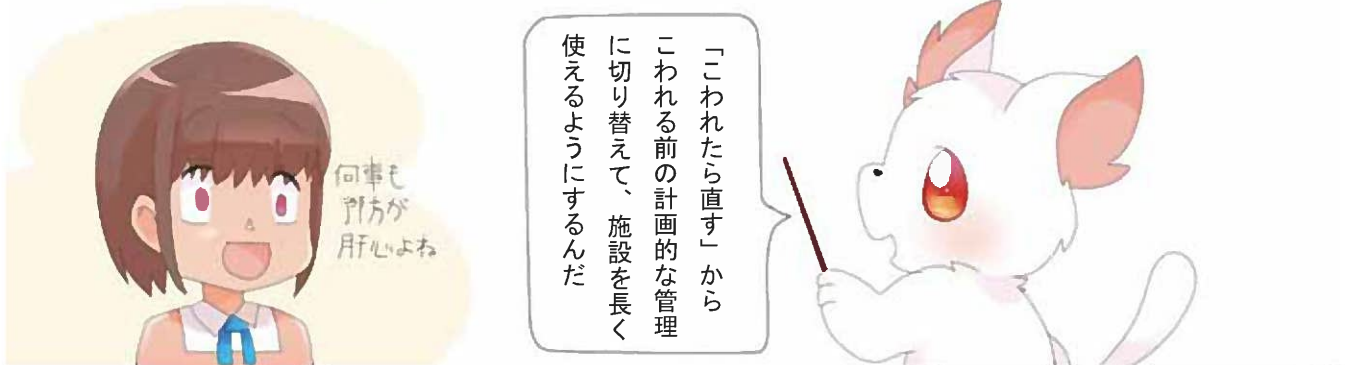
将来世代に負担を先送りすることなく
より良い資産を次世代に引き継いでいく

◇ 施設総量の縮減と適正配置の実現

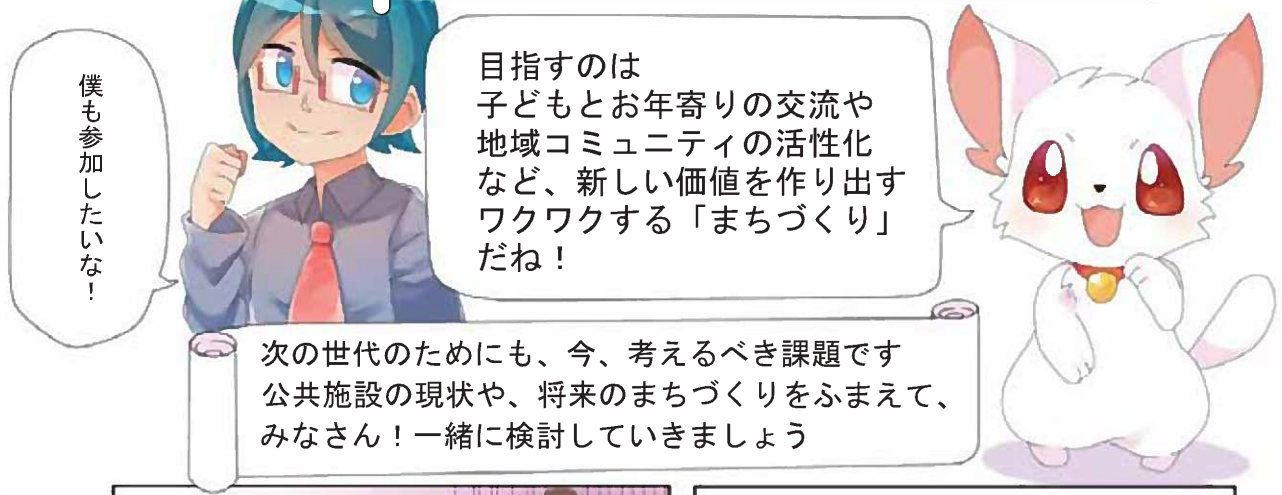
縮減目標「今後 20 年で 20%縮減を目指します」



◇ 計画的な保全による長寿命化



長野市は、平成 28 年 2 月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「人口ビジョン」を策定し、人口減少対策に取り組んでいます。



長野市 総務部 行政管理課
公共施設マネジメント推進室
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
Tel : 026-224-8402 Fax : 026-224-7964
E-mail : gyousei@city.nagano.lg.jp

◇長野俊英高等学校漫画研究部の皆さんから
公共施設マネジメントは、私たちも含めて長野市民全員の問題だと思います。この問題は先送りしないで考えたいと思いました。このマンガが少しでも役に立てばいいなと思います。